

〔花き類の新品種導入および品種改良〕  
シクラメン98系優良系統の二次選抜

吉岡孝行  
(園芸部)

## 【目的】

都オリジナルのシクラメン品種の育成を目的に、1997年に優良株を選抜し、1998年に交配して得られた実生個体からの選抜を繰り返してきている。そこで、これまでに得られた系統の中から二次選抜を行い、優良系統の絞り込みを行う。

## 【試験方法】

1997年、優良株選抜交配実生(70組み合わせ13,345粒)から選抜した28系統を供試した。2002年10月29日播種。用土はメトロミックス350と赤土：腐葉土：ピートモス＝4：4：2を体積で均等混合したものに、元肥にBM熔リン2g/L、過燐酸石灰2g/Lを混用した。3月14日から3号ポリポットに鉢上げし、6月7日より5号プラ鉢に、そして、9月25日からは生育が進んだ系統を6号プラ鉢へ定植した。鉢用土はいずれも同じで、赤土：腐葉土：ピートモス＝4：4：2の体積割合で混合したものに、元肥としてBM熔リン5g/L、過燐酸石灰2g/Lを混用した。置肥はプロミックス小粒を6月17日に1粒/株、9月27日2粒/株、10月29日3粒/株を施し、灌水変わりに液肥を適宜与えた。11月より温室の最低夜温を14℃に設定し、12月6日から花色の揃い、花茎、株のつくりなどの調査を行った。

## 【成果の概要】

1) 'B-1×SP-1' 花色は明赤紫(9506)、明度5、彩度13.5で若干の色幅が見られる。花弁長短く、花弁幅比較的狭い中輪タイプの丸弁で、花弁の反転程度は全弁反転型となる。また、花弁のねじれは弱く見られるが、花茎は比較的短く、葉も小さい。葉枚数、開花数とも多く、強い草勢を認め、草姿の揃いに優れる。

2) 'SP-2×B-1' 花色は明紫赤(9706)、明度5、彩度13で若干の色幅が見られる。花弁は系統'B-1×SP-1'よりもやや大きい丸弁で、中輪タイプに属する。花弁の反転程度は一部が花茎にかかり、花弁にねじれはほとんど見られない。11月中旬には開花する系統で、草姿の揃いに優れる。

3) 'SP-16×B-1' 系統'SP-2×B-1'と形態的によく似るが、花茎が長く、花弁がやや縦長である。若干の色幅が見られる。葉枚数、開花数とも多く、強い草勢を認め、草姿の揃いに優れる。

4) 'P-5×B-1' 花色は系統'SP-16×B-1'や系統'SP-2×B-1'と同じであるが、花弁、花茎とも大きくなる。開花は12月に入ってから始まり、花弁はやや縦長で、弱いねじれと縁に波打ちが見られる。葉枚数が多く、極めて旺盛な草勢を認め、草姿の揃いに優れる。

5) このように、以上の4系統は草姿が揃い、花色が比較的安定していて、強い草勢をもつなどの特徴が見られる。

表1 98系優良系統の形態特性

区分・系統名	B-1×SP-1	SP-2×B-1	SP-16×B-1	P-5×B-1
花色	9506 明赤紫	9706 明紫赤	9706 明紫赤	9706 明紫赤
葉色 (葉表面)	3315 灰緑	3313 暗黄緑	3313 暗黄緑	3313 暗黄緑
葉色 (斑)	3310 浅黄緑	3310 浅黄緑	3310 浅黄緑	3310 浅黄緑
花卉長 (mm)	47.7	49.4	52.4	56.5
花卉幅 (mm)	32.3	33.6	28.2	27.5
花茎の太さ (mm)	3.5	3.5	3.6	4.4
花茎長 (cm)	20.4	20.5	23.0	25.0
葉長 (cm)	7.4	8.0	7.8	8.5
葉幅 (cm)	6.7	7.1	7.0	7.6
葉柄長 (cm)	13.0	12.1	12.4	11.0
葉柄の太さ (mm)	3.1	3.0	3.4	3.5
開花数 (輪)	29.6	23.6	25.7	11.4
葉枚数 (枚)	91.0	72.4	96.3	110.8

1) 調査 : 2002年12月6日～13日

2) 花色の番号は、日本園芸植物標準色票カラーコード番号を示す。



系統 'B-1×SP-1'



系統 'SP-2×B-1'



系統 'SP-16×B-1'



系統 'P-5×B-1'